

今後の小中連携教育の推進について

1 小中連携教育の目的

小学校から中学校への円滑な接続を目的に9年間を見通した「学習指導」「生活指導」を確立し、児童生徒の成長をきめ細やかに支援する。

- (1) 発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導、生活指導の充実
- (2) 異学年の児童生徒、多くの教職員とのふれあいによる豊かな人間性、社会性の育成
- (3) 小学校・中学校教員が互いに学び合うことによる指導方法の改善

2 これまでの取組の成果

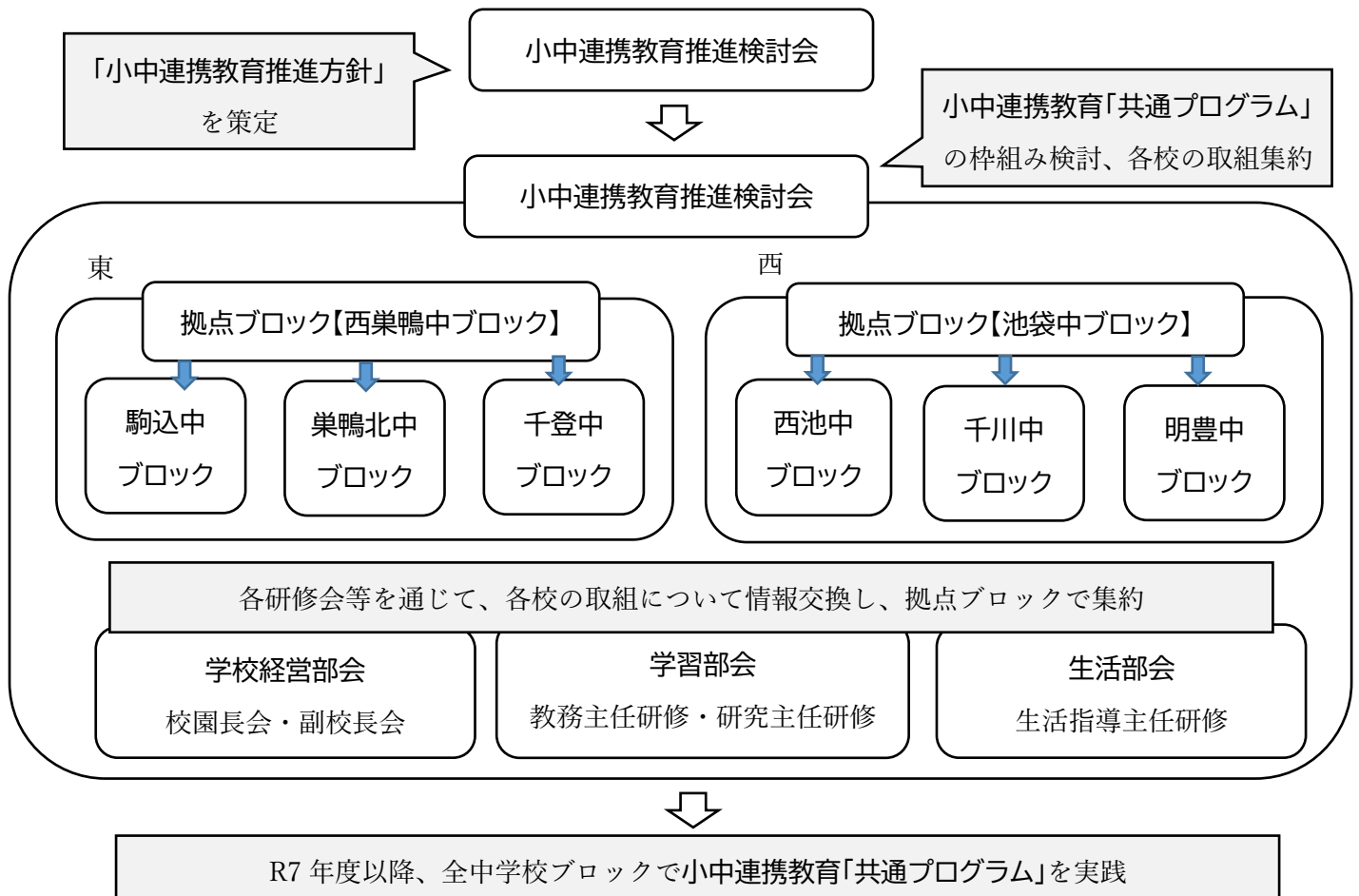
各校の教育課程に小中連携教育を位置付け、各中学校ブロックで共通実践による「9年間の連続した学び」、情報交換による児童生徒理解、連携授業、児童生徒の交流等に取り組んだ。

対 象	成 果 等
小学生	○見通しをもった学習や生活、多様な教職員、児童生徒と関わる機会をもったことにより 中学校進学への不安が軽減される。 ○身近な中学生があこがれの存在となり、中学校までの目標をもつ。
中学生	○小学生との交流を通じ、上級生であることを自覚し、自尊感情が高まる。 ○異学年交流により、自分のあるべき姿をイメージし自律的な行動をとる。
教職員	○9年間で学力・体力を向上させる発想をもち、指導方法の工夫や改善の意欲が高まる。 ○中学校につながる子供たちを小中全教員で育てているという一体感が生じ、協力する。

3 今後の小中連携教育の推進ロードマップ（案）

時 期	会 議	内 容 等
令和6年12月	R6 第1回 小中連携教育推進検討会	○西巢中ブロック、池袋中ブロックの小中学校長への今後の小中連携教育についての説明及び意見交換
令和7年1月～ 3月	R6 第2回 小中連携教育推進検討会	○「小中連携教育推進方針」の骨子について意見交換、論点整理
令和7年4月～	R7 第1回～ 小中連携教育推進検討会	○今後区として取り組む「小中連携教育推進方針」を策定
令和7年度内	R7 第1回～ 小中連絡協議会	○拠点ブロック(西巢中ブロック、池袋中ブロック)で小中連携教育「共通プログラム」の枠組みを検討、他の中学校ブロックを含めた実践例を集約し共有 ○全中学校ブロックで小中連携教育「共通プログラム」実践

会 議	○内 容 等 ►構 成 員 (案)
小中連携教育推進 検討会	○今後区として取り組む小中連携教育の目標や方向性等を策定 ⇒「小中連携教育推進方針」 ►教育長・教育部長・指導課長・教育センター所長・西巢中、池中ブロック小中学校長
小中連絡協議会	○拠点ブロックで「小中連携教育推進方針」に基づく、共通プログラムの枠組み検討 他ブロックを含めた実践例を集約し共有 ⇒ 小中連携教育「共通プログラム」 ►ブロック内の小中学校長・副校長・教務主任・生活指導主任・研究主任



4 「小中連携教育推進方針」及び小中連携教育「共通プログラム」のイメージ (案)

